

博物館

1 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・設立年月日 平成5年4月1日
- ・開館年月日 平成5年11月1日
- ・丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
- ・リニューアルオープン 平成27年3月21日
- ・敷地面積 1,845.840 m²
- ・建設面積 1,590.397 m²
- ・延床面積 10,147.108 m²
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2F、地上6F

・主な室名と面積

展示・教育部門		2,202.065 m ²
常設展示室	2 F	658.364 m ²
常設展示室	3 F	548.291 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	4 F	93.674 m ²
図書スペース	1 F	86.350 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
研修・実習室	1 F	78.370 m ²
収蔵部門		1,256.230 m ²
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫②③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門		420.165 m ²
作業室	2 F	50.422 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
第2会議室	4 F	37.952 m ²
第3会議室	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門		1,714.282 m ²
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
コズミックラウンジ	5 F	59.081 m ²
コズミックギャラリー	5 F	194.763 m ²
ブリーフィングルーム	5 F	59.326 m ²



空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門		4,554.366 m ²
事務室	3 F	105.059 m ²
事務室	2 F	60.464 m ²
第1会議室	2 F	37.001 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品室など		3,531.901 m ²

・プラネタリウム仕様

ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20 度）

座席 144 席（遮音室 8 席）

光学式投映機 ケイロン 401

デジタル式投映システム バーチャリウム II

全天周映画 可能

3 そらんぼ四日市

博物館と併設の四日市公害と環境未来館は、「そらんぼ四日市」の総称のもと、市民に親しまれ、本市のイメージを発信する一体感のある事業展開を図っている。

常設展示については、原始・古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場としている。

プラネタリウムについては、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとして、市内外から多くの観覧者が訪れている。

博物館・プラネタリウムと四日市公害と環境未来館は、過去から現在そして未来へという時間軸と、四日市から日本、世界・地球そして宇宙へという空間軸を自在に交差させ、立ち位置や見方、考え方を考えることで、未来のまちづくりを市民一人一人が考えることができる場となることを目指している。

4 展示等事業

(1) 常設展示

・常設展「時空街道」

四日市のあゆみのうち、原始・古代から江戸時代までを博物館で展示し、明治以降は2階の四日市公害と環境未来館で展示するため、両館の展示が一体的な時代の流れにあることを理解できるように、展示テーマを「四日市のまちの発展と人々の暮らしの変化」とした。

時空街道では、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者自身が時代の雰囲気や、社会の変化の流れを体感できるような構成としている。映像や照明による一日の時間や季節の移り変わりを感じられるほか、スマートフォンやタブレット端末を利用した展示解説や、解説シート、ボランティアとの対話の中から得られる説明など、資料の理解を促す方法も選べ、何度訪れても学べる工夫をおこなっている。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、二十数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現している。

(2) 特別展・企画展

① 「エドワード・ゴッリーの優雅な秘密」		
会 期	4月15日(土)から 6月4日(日)までの45日間	
観 覧 料	一般700円 高・大生500円	
観 覧 者 数	3, 329人	
関 連 行 事	4月30日(日)	絵封筒をつくろう 伊藤義浩(当館指導主事)
	5月21日(日)	削って描こう 伊藤義浩(当館指導主事)

② 「メイド・イン・ヨッカイチ」	
会 期	8月1日(火)から 9月10日(日)までの37日間
観 覧 料	一般500円 高・大生300円
入館者数	1, 826人

関 連 行 事	8月20日(日)・27日(日)、9月3日(日)・10日(日)	ギャラリートーク 廣瀬毅(当館学芸員)
---------	--------------------------------	------------------------

③ 「阿弥陀さまと極楽の世界」		
会 期	10月21日(土)から 12月3日(日)までの38日間	
観 覧 料	一般500円 高・大生300円	
観 覧 者 数	2, 825人	
関 連 行 事	10月29日(日)、 11月3日(金・祝)・19日(日)、 12月3日(日)	ギャラリートーク 田中伸一(当館学芸員)

④ 「なつかしい暮らしと昭和の元気なこどもたち」		
会 期	平成30年1月2日(火)から 2月28日(水)までの49日間 (1月25日は大雪のため臨時休館)	
観 覧 料	一般400円 高・大生300円	
観 覧 者 数	5, 755人	
関 連 行 事	1月28日(日)	記念講演会 「八王子線物語」 四郷郷土研究会
	1月8日(月・祝)・21日(日)、 2月12日(月・祝)・25日(日)	昭和の名人に学ぼう 伊藤義浩(当館指導主事)、博物館ボランティア

⑤ 共催展「第59回北勢地区高等学校美術展」		
会 期	平成30年3月6日(火)から 3月11日(日)までの6日間	
観 覧 料	無料	
観 覧 者 数	544人	
関 連 行 事	3月10日(土)	講演会・ワークショップ

(3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示 観覧者数 26,438人 (29年度分のみ)

名称	会期	場所
①大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	3月18日(土) ～5月7日(日)	白里亭、 3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月13日(火) ～9月3日(日)	白里亭、 3Fロビー、 2F常設展一部
③大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	平成30年 3月17日(土) ～5月6日(日)	白里亭、 3Fロビー

特別陳列

観覧者数 25,025人

名称	会期	場所
①館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展	5月13日(土) ～6月4日(日)	白里亭
特別陳列 日本画名品展	9月9日(土) ～9月24日(日)	白里亭
②館蔵品展Ⅱ 四日市の近代を支えた人①	9月30日(土) ～10月29日(日)	白里亭
③館蔵品展Ⅲ 四日市の近代を支えた人②	11月3日(金・祝) ～12月3日(日)	白里亭
⑤館蔵品展Ⅳ お正月～戌年～	12月9日(土) ～平成30年 1月28日(日)	白里亭
⑥館蔵品展Ⅴ 四日市の風景	2月3日(土) ～3月11日(日)	白里亭

5 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

①ワークショップ(全9回)

参加者数 317人 [場所: 講座室ほか]

4月23日(日)	まが玉をつくろう	伊藤義浩 (当館指導主事)
6月25日(日)	たなばたかざり	
7月23日(日)	自然素材で立体アート	
10月29日(日)	からくりおもちゃをつくろう!	
12月3日(日)	お正月	
平成30年 1月14日(日)	むかしの道具を使ってみよう	
1月28日(日)	むかしのおやつをつくってみよう	
2月11日(日)	昭和っこのあそび	
2月18日(日)	ひなまつり	

②ジュニア学芸員養成講座(全5回)

参加者数 58人 [場所: 講座室ほか]

5月28日(日)	パネルのつくりかた	伊藤義浩 (当館指導主事)
6月18日(日)	四日市空襲を語り継ごう	
8月6日(日)	時空街道で郷土研究	
10月15日(日)	美術品に触れよう	
11月19日(日)	博物館バックヤード探検	

③親と子のプチわーくしょっぷ(全2回)

参加者数 145人 [場所: 講座室]

6月4日(日)	いろのふしぎ	伊藤義浩 (当館指導主事)
11月5日(日)	きのみでつくろう	

(2) 一般向け講座

①時空街道ツアー(全7回)

参加者数 34人 [場所: 時空街道]

5月14日(日)	体感型常設展を、人々の暮らしの変化という視点で読み解く、ボランティアや職員による約1時間のガイドツアー	博物館 ボランティア 伊藤義浩 (当館指導主事)
6月4日(日)		
8月14日(月)		
12月24日(日)		
平成30年 1月14日(日)		
2月4日(日)		
3月4日(日)		

②ミュージアムセミナー

「四日市の120年」(全6回)

聴講者数 108人 [場所: 講座室]

7月22日(土)	四日市公害と環境改善のあゆみ	大杉邦明(四日市公害と環境未来館学芸員)
8月19日(土)	港からみた近代 四日市のあけぼの	石原佳樹(三重県文化振興課県史編さん班)
9月2日(土)	小左衛門と伝七 近代産業の幕開け	吉村利男(三重県史編集委員)
10月14日(土)	四日市の鉄道	廣瀬毅(当館学芸員)
11月11日(土)	四日市の工業化のあゆみ	佐藤誠也(三重フィールド研究会会長)
12月2日(土)	近現代の萬古焼	田中伸一(当館学芸員)

③古文書で知る江戸時代（全12回）

参加者数 738 人 [場所：講座室]

4月8日(土)	古文書を読む前に①	廣瀬毅 (当館学芸員)
5月13日(土)	くずし字を読み解く①	
6月17日(土)	くずし字を読み解く②	
7月8日(土)	古文書を読む①	
8月5日(土)	古文書を読む前に②	
9月9日(土)	くずし字を読み解く③	
10月7日(土)	くずし字を読み解く④	
11月4日(土)	古文書を読む②	
12月16日(土)	古文書を読む前に③	
平成30年 1月20日(土)	くずし字を読み解く⑤	
2月10日(土)	くずし字を読み解く⑥	
3月3日(土)	古文書を読む③	

④大人の社会科（全6回）

参加者数 78 人 [場所：講座室ほか]

5月14日(日)	バックヤードツアー	田中伸一、丹野佑香、廣瀬毅(当館学芸員)、伊藤義浩(当館指導主事)
7月9日(日)	学芸員体験	
9月3日(日)	風呂敷 和のラッピング	
11月12日(日)	ヒンメリをつくるう！	
12月10日(日)	水引細工でお正月	
平成30年 3月11日(日)	和綴じ本をつくるう！	

⑤「丹羽文雄記念室」関連（全2回）

参加者数 20 人 [場所：講座室]

4月16日(日)	作品朗読会 「厭がらせの年齢」	田中伸一 (当館学芸員)
平成30年 3月18日(日)	原作映画上映会 「続 飢える魂」	

⑥いちにの散策よっかいち（全3回）

参加者数 17 人 [場所：現地]

5月20日(土)	富田の東海道	廣瀬毅、 田中伸一 (当館学芸員)
10月28日(土)	丹羽文雄 ゆかりの地を歩く	
平成30年 3月17日(土)	川島を歩く	

⑦出前講座

(市内各所)

演題	回数	参加人数	講師
東海道と四日市宿	1	40	廣瀬毅 (当館学芸員)
伊勢参宮と四日市	2	39	
泗水八景その後	1	26	
地獄と極楽の話	5	195	田中伸一 (当館学芸員)
因果応報の世界	1	11	
心を包む風呂敷	5	140	伊藤義浩 (当館指導主事)
映像で振り返る昭和の四日市	7	298	
その他	9	536	廣瀬毅、田中伸一(当館学芸員)
合計	31	1,285	

⑧実習・研修の受入

博物館実習

8月29日(火)～9月8日(金)の平日8日間
8大学10人

学校教員研修

月	内容	人数	担当
7月	スパイラル研修	2人	伊藤義浩 (当館指導主事)
8月	スパイラル研修	2人	
8月	体験的博物館講座	17人	
平成30年1月	スパイラル研修	1人	
計7日		22人	

中学生の職業体験

月	校数	人数	担当
5月	3校	6人	伊藤義浩 (当館指導主事)
6月	3校	6人	
9月	1校	2人	
10月	1校	2人	企画普及係、 天文係、 管理係職員
11月	3校	6人	
延32日	11校	22人	

⑧博物館ボランティア養成研修

10月7日(土)、11月4日(土)・18日(土)、12月9日(土)、平成30年1月20日(土)、2月5日(月)・19日(月)、3月5日(月) 全8回 参加 18人

(3) ボランティアとの協働

博物館ボランティア

登録者数 60 人（うち 29 年度登録者 17 人）

延べ活動者数 1,211 人

丹羽文雄記念室語り部の会

登録者数 8 人

延べ活動者数 84 人

古文書ボランティア

登録者数 7 人

延べ活動者数 85 人

6 資料収集保存事業

（単位：件）（平成 30 年 3 月末現在）

1	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
人 文 学 資 料	(1) 考古	1,414	25
	(2) 美術工芸	3,345	30
	(3) 民俗	5,375	18
	(4) 歴史	11,619	62
	(5) 文学	4,917	8
	計	26,670	143
2	区 分	実 物・標 本	模 型 複 写
自 然 科 学 資 料	(1) 動物資料	0	0
	(2) 植物資料	3,273	0
	(3) 地学資料	130	2
	(4) 理工学資料	0	0
	(5) 天文資料	7	0
	(6) その他の資料	0	0
	計	3,410	2

7 プラネタリウム投映事業

季節ごとに 3 種類（一般番組、ファミリー番組、星空番組）の番組を投映した。特に、一般番組（春・冬）と星空番組、夜間特別番組（春）は、季節の星空や天文現象、天体や宇宙に特化したテーマを設定し 45 分間のフルライブで解説する自主制作番組とした。

また、未就学児の家族を対象に「はじめてのプラネタリウム」を期間限定で投映し、子どもたちを交えた夜空の動物さがしをして多くの家族に楽しんでもらった。

さらに、毎週土曜日には夜間特別番組の投映や講演会、ライブコンサートなどを行った。

天文教育普及活動では、移動天文車「きらら号」の観望会や出前講座、移動式プラネタリウムを活用した中学校との連携による授業、四日市子ども科学セミナーなど各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

(1) 季節番組

<春番組>

①一般番組「太陽系最大の惑星 木星」	
②ファミリー番組「かいけつゾロリ ～うちゅうの勇者たち～」	
③星空番組「そらんぼ 星空への招待-春の句-」	
投映期間	3月18日（土）～ 6月4日（日）

観覧者数	①1,745 人（2,354 人）
	②2,688 人（4,051 人）
	③782 人（992 人）
	※（ ）内は前年度分を含む

<夏番組>

①一般番組「HAYABUSA2-RETURN TO THE UNIVERSE-」	
②ファミリー番組「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検 3 ～地球のふしぎ～」	
③星空番組「そらんぼ 星空への招待-夏の句-」	
投映期間	6月13日（火）～ 9月10日（日）
観覧者数	①6,189 人
	②13,765 人
	③2,185 人

<秋番組>

①一般番組「宙ガール☆篠原ともえの レッツスターウォッチング」	
②ファミリー番組「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント★NEXT ～太陽系のお友だちの段～」	
③星空番組「そらんぼ 星空への招待-秋の句-」	
投映期間	9月16日（土）～ 12月17日（日）
観覧者数	①1,621 人
	②3,331 人
	③1,122 人

<冬番組>

①一般番組「月のふしぎ」	
②ファミリー番組「ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～」	
③星空番組「そらんぼ 星空への招待-冬の句-」	
投映期間	平成30年1月2日（火）～ 3月11日（日）
観覧者数	①1,939 人
	②2,922 人
	③1,005 人

<春番組>

①一般番組「美しき地球 BELLA GAIA」	
②ファミリー番組「秘密結社鷹の爪 THE PLANETARIUM ～ジュラジュラ！ジュラシックトラベル～」	
③星空番組「そらんぼ 星空への招待 -春の句-」	
投映期間	平成30年3月17日（土）～ 6月3日（日）
観覧者数	①555 人（2,376 人）
	②1,033 人（3,691 人）
	③263 人（988 人）
	※（ ）内は後年度分を含む

※全ての季節番組に各 1 回字幕付き投映を実施

(2) 学習投映（団体利用投映）

- ・ 保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象（事前申込みが必要）
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による体験型の学習用プラネタリウム
- ・ 四日市公害と環境未来館と連携して、小学校5年生を対象に環境学習プログラムとして「アース・メッセージ」を投映

天体学習プログラム	155 回	11,124 人
環境学習プログラム	34 回	2,439 人
合計	189 回	13,563 人

<季節番組・学習投映の投映時刻> ※投映は約 45 分間

平日	学習 9:50	学習 10:50	学習 13:15	一般 14:30	星空 15:45	
土日祝 学校長期 休暇期間	一般 10:15	ファミリー 11:30	ファミリー 13:15	一般 14:30	星空 15:45	土曜 夜間 18:30

(3) 特別番組

①宇宙塾

第1回 「はやぶさ2 ～いよいよ小惑星到着～」	7月22日（土） 18:30～20:00
	津田雄一（JAXA はやぶさ2 プロジェクトマネージャー）
	観覧者数 80 人
第2回 「太陽の素顔 ～母なる太陽と 地球の気候～」	8月5日（土） 18:30～20:00
	政田洋平 （愛知教育大学講師）
	観覧者数 48 人
第3回 「今年が月が おもしろい！」	平成30年1月27日（土） 18:30～20:00
	伊藤信成（三重大学教授）
	観覧者数 98 人

※全ての回で字幕、手話を付けて実施

②ライブコンサート

ライブコンサート 「栗コーダーカルテット」	9月3日（日）18:30～20:00
	栗コーダーカルテット& ビューティフルハミング バード 観覧者数 144人
ライブトーク 「篠原ともえ」	11月4日（土）18:30～20:00
	篠原ともえ（タレント）
	観覧者数 140 人

③幼児向け特別番組

「くまのがっこう ～ジャッキーの おほしさま～」	4月7日（金）・14日（金）・ 21日（金）・4月28日（金）～ 5月7日（日）10:15～11:00
	観覧者数 1,286 人

④夜間特別番組

「12星座物語」	3月18日（土）～ 6月3日（土） の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 261 人（292 人）
「Feel the Earth」	6月17日（土）～ 9月9日（土） の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 574 人
「Feel the Earth」	9月16日（土） ～ 12月16日（土）の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 387 人
「Feel the Earth」	平成30年1月6日（土） ～ 3月10日（土）の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 321 人
「12星座物語」	平成30年3月17日（土） ～6月2日（土）の土曜日 18:30～19:15 観覧者数 73 人（267 人） ※（ ）内は後年度分を含む

※全ての夜間特別番組に各1回字幕付き投映を実施

⑤その他投映

- ・ 研修・視察等の団体向け特別投映 投映 14 回（13 団体）
- ・ 宇宙に咲くふたり 特別投映 投映 1 回
- ・ クリスマス特別投映 投映 17 回

⑥その他視察

視察団体向けのガイダンス投映 投映 7 回（6 団体）

8 天文教育普及事業

(1) 公開観望会（移動天文車きらら号出勤なし）

ペルセウス座 流星群観望会	8月12日（土） 19:00～21:00	参加者数 150 人
オリオン座流 星群観望会	10月21日（土） 19:00～21:00	天候不良の為 中止
しし座流星群 観望会	11月18日（土） 19:00～21:00	参加者数 37 人

(2) 学校連携

市内の中学校3年生を対象に、移動式プラネタリウムを活用した出前授業を実施。(内容:星の日周運動や年周運動、北極・赤道での太陽の動き、金星の満ち欠けなどについて学習する。)

移動式プラネタリウム	11月1日～平成30年1月16日の原則火～金曜日	実施校数 6校
------------	--------------------------	---------

(3) コズミックスクール

①お星さまのペンダントをつくろう!	5月3日(水・祝)～5月7日(日) 11:00～12:00
②スマホで天体撮影	5月6日(土) 18:30～20:30
③空気砲を作ろう!	5月27日(土) 15:00～16:30(楠歴史民俗資料館)
④太陽の観察をしよう!	8月12日(土) 9:45～12:30
⑤プラネタリウムについて知ろう!	8月15日(火) 9:45～12:30
全9回 参加者数合計 482人	

(4) 教職員研修

研修テーマ「星座早見盤と立体月齢早見盤の作り方と観察」		
保幼小中教諭対象	7月31日(月) 13:30～16:30	参加者数 53人

(5) 四日市子ども科学セミナー (会場:博物館講座室)

JAXA コズミックカレッジ in 四日市 「宇宙ってどんなところ?～空気の無い世界を体験しよう!～」	7月29日(土)13:30～15:30 博物館職員 参加者数: 93人 (保護者含む)
--	--

(6) ガリレオ教室 (天文ボランティアとの協働)

4月9日(日)	惑星のひみつ
5月14日(日)	太陽メガネを作ろう!
7月9日(日)	流星のひみつ
8月13日(日)	流星のひみつ
9月10日(日)	月のひみつ
10月8日(日)	太陽のひみつ
11月12日(日)	流星のひみつ

12月10日(日)	流星のひみつ
平成30年1月14日(日)	皆既月食のひみつ
平成30年2月11日(日・祝)	3Dメガネで宇宙を見よう
平成30年3月11日(日)	3Dメガネで宇宙を見よう
1日2回(5月14日は1回) 全21回実施 参加者数合計 547人	

(7) 出前講座など

11月11日(土)	移動式プラネタリウム
	場所:三浜文化会館 主催者:文化振興課
	参加者数 109人

(8) 移動天文車「きらら号」事業

大型天体望遠鏡を載せた移動天文車「きらら号」による星空観望会を天文ボランティアの方々と協働で実施した。

① 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、観望会を行った。

「きらら号」稼働状況(派遣事業のみ)	
稼働予定回数 26回 (実施回数:21回+中止時の天文教室回数:3回、天候不良のため中止:5回)	参加者数 2,409人 (中止時の天文教室参加者数 105人) ボランティア数 延べ75人

② 主催事業

「きらら号」稼働状況(主催事業のみ)	
稼働予定回数 16回 (実施回数:13回)	参加者数 1,403人 ボランティア数 延べ92人

<主催観望会>

会場:市民公園(博物館前)

①木星を見よう	4月22日(土) 19:30～21:00	実施
②木星と春の大曲線をさがそう	5月27日(土) 19:30～21:00	実施
③木星と土星を見よう	6月24日(土) 19:30～21:00	天候不良の為中止
④木星と土星を見よう	7月22日(土) 19:30～21:00	実施
⑤太陽を見よう	8月5日(土) 15:30～17:00	天候不良の為中止
⑥土星と夏の大三角をさがそう	8月26日(土) 19:00～20:30	実施

⑦月と月面Xを見よう	8月29日(火) 17:30~19:00	実施
⑧夏の大きな三角を探そう	9月23日(土・祝) 18:30~20:00	実施
⑨中秋の名月を見よう	10月4日(水) 18:00~19:30	実施
⑩半月を見よう	10月28日(土) 18:00~19:30	天候不良 の為中止
⑪栗名月(十三夜)を見よう	11月1日(水) 18:00~19:30	実施
⑫半月を見よう	11月25日(土) 17:00~18:30	実施
⑬三日月とすばるを見よう	12月23日(土・祝) 17:00~18:30	実施
⑭月とすばるを見よう	平成30年 1月27日(土) 18:00~19:30	実施
⑮月と冬の大きな三角をさがそう	2月24日(土) 18:30~20:00	実施
⑯太陽を見よう	3月24日(土) 10:30~12:00	実施

9 開館時間等

開館時間

午前9時30分から午後5時まで

(ただし展覧会への入場は午後4時30分まで)

※毎週土曜日は夜間特別開館として1階・5階のみ
午後7時30分まで開館。

休館日

月曜日(休日の場合は翌平日)及び年末年始(12/25~1/1)

6月5日(月)~12日(月)

9月11日(月)~15日(金)

12月18日(月)~21日(木)

平成30年3月12日(月)~16日(金)

観覧料金

区分	博物館 特別展示	プラネタ リウム	プラネタ リウム特 別番組
一般	その都度 定める額	540円	その都度 定める額
高・大生		380円	
小・中生	無料	210円	

※有料20名以上の団体は2割引

※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分 ~12時	13~17時	9時30分 ~17時
特別展示室 595㎡	—	—	32,400円
講座室 142㎡	8,640円	12,960円	21,600円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない。

10 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月 計
	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	回数	観覧者数	
4月	26日	2,430	14日	691	26日	97回	2,930	6,051
5月	27日	4,032	27日	1,847	27日	113回	4,615	10,418
6月	20日	3,662	4日	791	20日	92回	4,874	9,323
7月	27日	5,729	0日	0	27日	132回	8,165	13,700
8月	28日	8,369	28日	1,367	28日	150回	12,725	22,314
9月	22日	3,097	9日	459	22日	86回	3,535	6,877
10月	26日	5,858	9日	334	26日	118回	5,051	11,225
11月	26日	4,563	26日	2,027	25日	111回	4,072	10,399
12月	18日	2,389	3日	464	18日	82回	3,720	6,559
29年1月	25日	2,932	25日	2,273	25日	101回	3,080	8,187
2月	24日	4,272	24日	3,482	24日	104回	3,578	11,317
3月	23日	3,262	0日	0	23日	99回	3,723	6,985
合計	292日	50,595	169日	13,735	293日	1,285回	60,068	124,398

※6月13日(火)～7月24日(月)の期間は、四日市公害と環境未来館主催の特別展「四日市公害写真展 四日市公害裁判判決45周年」開催のため、博物館の「特別・企画展」の観覧者数には含めていません。

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	
28	288日	56,454人	144日	18,800人	288日	63,310人	138,564人
27	294日	71,143人	156日	15,181人	294日	59,195人	145,519人
26	45日	7,355人	32日	4,533人	42日	7,649人	19,537人